

松丸のぶひさ物語

これは守谷生まれ、
守谷育ち
松丸のぶひさの物語である



子どもの頃は
ガキ大将だったか――



正義感が強く
弱い者の味方的な
面があったので



まーやん



兄貴分のように
慕われていた

まーやん



中学のバスケット部では
環境に恵まれなかった

くそ！

あんなコーチじゃ
練習にならねえよ



もっと前向きに
なることが
大事なんじゃないかな！



こんな
練習メニューは
どうだ

そうか
朝練だ

OBにも来て
もらって指導
してもらおうぜ

自ら創意工夫して
その環境を改善し

えっ
俺が！？

名門校から
オファーを
受けるほどまでに
成長した



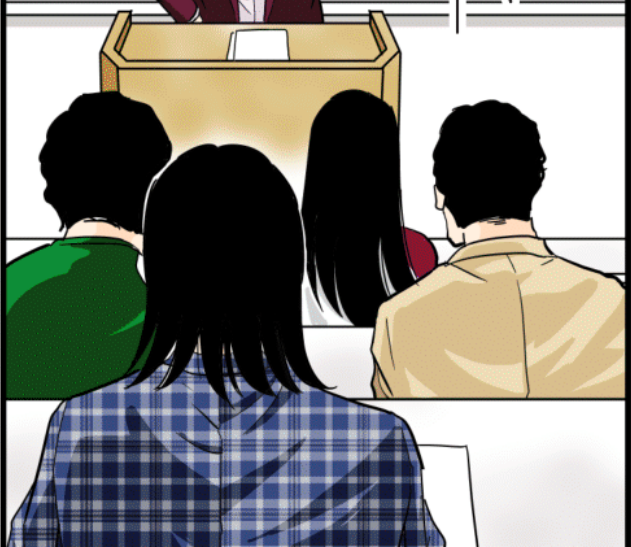
自立心が強かった
のぶひさは高校卒業後
関西の同志社大学へ
進学



一度
親元を離れて
自分を磨こう!



「論理的な思考」を
英語のデイベートや
プレゼンで学び



松丸!
いいプレゼン
だったぞ



言葉の持つ力の
大切さに気づいていく

論理的に話せば
こんなに理解して
もらえるんだ!



就職活動時——
ある政治家から
アドバイスを受ける

君は政治家に
向いてるよ

えっ!?
どこがですか

誰かの役に立ちたい
という気持ちか
にじみ出ているよ
君は

いやあ…

けれどそうかも
しれない…

それに政治家なら
学生時代に培った
スキルを活かせるかも…

こうして卒業後は
企業に就職はせず
衆議院議員秘書として
社会人第一歩を踏み出した

そして1998年——

必勝

守谷市議会議員初当選
を果たす

2. 事業仕分けを断行



1. 議会にタブレット導入

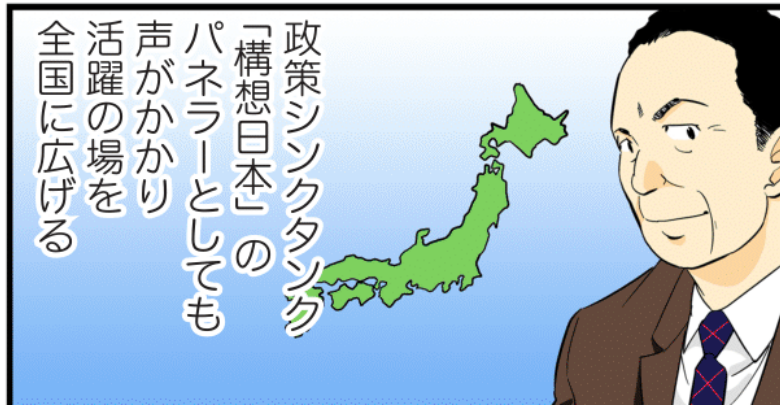


そして2016年

新たな政策を掲げ
次のステージへ挑戦！



市議会議員16年
市議会議長4年を務めあげ
「市政をくまなく理解！」



政策シンクタンク
「構想日本」の
パネラーとしても
声がかかり
活躍の場を
全国に広げる

3. 行政への「人事評価制度」導入



→公平感、やる気を創出

安心して子育てと
仕事ができる
環境づくり

政策2 子育て王国もりや

キャリア女性の支援
(女性の社会進出)

保育所の整備

子供たちが
より良い環境で
成長できる街を

→家族みんながイキイキ

政策1. 通勤環境の改善

TX 守谷駅始発
の増便と
終電の延長

働く人々に
優しい街へ

→働く人々がイキイキ

政策4. 2020年オリンピックに向けて

メダリストとトップアスリートたちによる
子どもたちへの直接指導



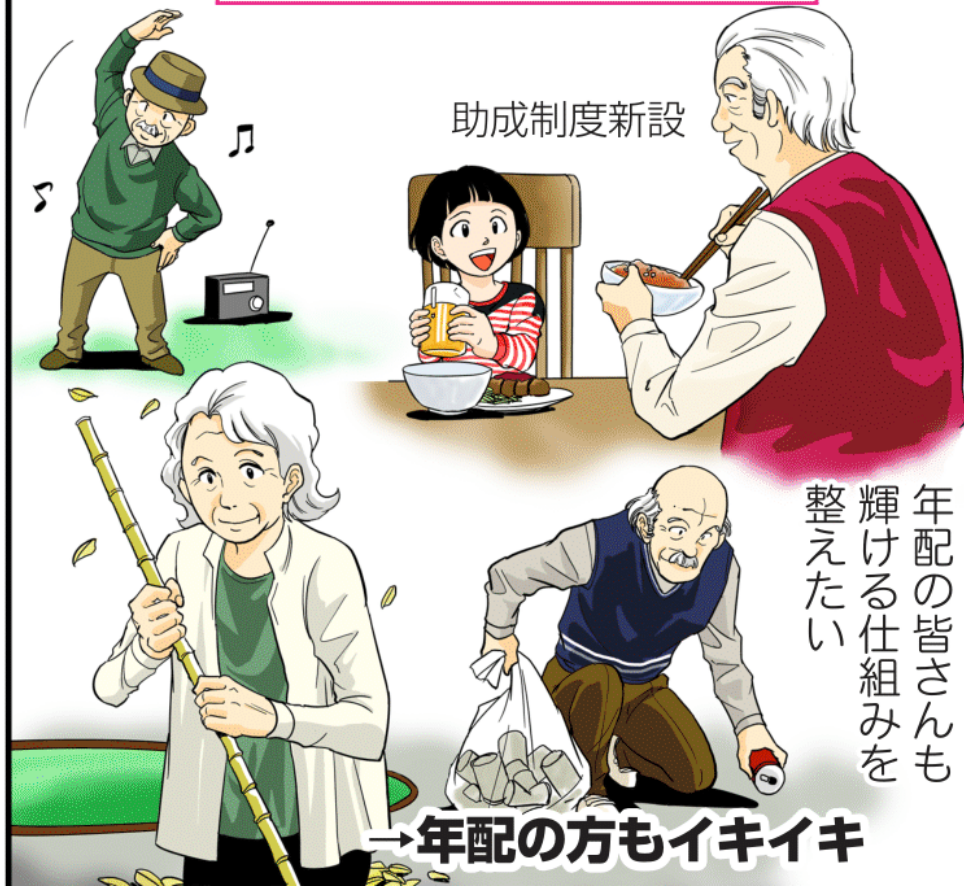
スポーツを通して
守谷の
皆さんを元気に

アテネ五輪銀メダリスト
地元出身 長塚智広氏

→スポーツでイキイキ

政策3. シニアいきいき輝くもりや

助成制度新設



年配の皆さんも
輝ける仕組みを
整えたい

→年配の方もイキイキ



松丸のぶひさは
明目の「もりや」のために
走り続ける――



守谷での
幾多もの実績――

若き日の
ロジカル
シンキング

持ち前の
創意工夫